

トップ選手育成事業『クラブ選手海外派遣活動』

オースティンからの便り

～日本編～

＜楠康成 2017年トラックシーズンの全試試合結果＞

- 2017-09-24 全日本実業団【5000m タイムレース 58位 14:27.52】
- 2017-09-22 全日本実業団【1500m タイムレース 13位 3:49.97】
- 2017-07-23 トワイライトゲームス【1500m 4位 3:47.32】
- 2017-07-13 ホクレン・ディスタンス 網走大会【1500m 5位 3:44.96】
- 2017-07-09 ホクレン・ディスタンス 北見大会【1500m 2位 3:43.01】
- 2017-06-23～25 日本陸上競技選手権【1500m 5位 3:51.32】
- 2017-05-21 東日本実業団【800m 2位 1:52.83】
- 2017-05-20 東日本実業団【1500m 3位 3:49.56】
- 2017-05-06 ゴールデンゲームズ in のべおか【1500m 7位 3:48.27】
- 2017-04-01 Texas Relays【1 マイル 8位 4:06.97】
- 2017-03-30 Texas Relays【800m 9位 1:51.54】

2017年は康成にとっては劇的に環境を変えていった年になりました。1月のメキシコでのテスト合宿、3～4月アメリカテキサス州オースティンでのトレーニングと慣れない海外生活。特に前半戦は新しい環境への挑戦でした。

アメリカから帰り、5月の東日本実業団陸上2種目表彰台、6月の日本選手権は3年ぶりに5位入賞を果たした康成でした。しかし、夏に肉離れをしてリハビリ、何とか3週間で走れるようになりましたが、秋のシーズンは結果として出ませんでした。

実績的には残念ではありますが、今年のテーマは、新しい人、環境に慣れる事でした。その点は、ライアンコーチ、マンザノ選手との息も合い海外の練習環境を整備することができました。先ずはそのことができたことが、一番の収穫の年になりました。短期的に考えると競技実績において少しマイナスだったかもしれませんが、次年度に向けての準備・環境が整ったことが素晴らしいと思っています。結果を求めるのは、来シーズンからだと思っています。

康成の取り組みはクラブの夢、目標、そして、近い将来クラブ事業に繋がるチャレンジです。2017年トラックシーズンお疲れ様でした。

このようなチャレンジができたのも世界へ向かう取り組みを理解して頂いたスポンサーの皆様のお陰と感謝申し上げます。2018年も引き続きご支援の程をお願い致します。

NPO 法人阿見アスリートクラブ 楠康成

→ 先日 11/5 のかけっこフェスタ★
トップアスリートスポーツ教室にて!!



【今シーズンを振り返って】

今シーズンはアメリカ挑戦をして初めてのシーズン、思っていた結果は残せませんでした。目に見える結果と言えば日本選手権の5位、これだけです。自己ベストも出せず何とも情けない結果でした。しかし素晴らしいコーチ、練習パートナーの存在はとても大きく、支えられながら戦うことができました。

そして後半は陸上人生のなかでもとても苦しくなっていました。初めての怪我から始まり、全日本実業団、そして駅伝での予選落ち、自分の詰め甘さが出てしまう結果になりました。

このような形でシーズン公式戦を終えるのはとても悲しいし悔しいです。

来シーズンは、自分はもちろん、まわりの方々にも満足のいく結果を残せるよう、これからライアンとともに、トップ、目標に向かって頑張っていこうと思います。今後とも応援よろしくお願致します。

楠 康成

